

平成26年12月定例会 総務委員会（事前）

平成26年11月26日（水）

〔委員会の概要 政策創造部関係〕

笠井委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（13時32分）

これより、政策創造部関係の調査を行います。

この際、政策創造部関係の12月定例会提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【提出予定議案】（資料①）

- 議案第1号 平成26年度徳島県一般会計補正予算（第6号）
- 議案第30号 平成26年度徳島県一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について

【報告事項】 な し

妹尾政策創造部長

12月定例会に提出を予定いたしております政策創造部関係の案件につきまして、御説明申し上げます。

お手元に御配付の総務委員会説明資料の1ページをお開きください。

平成26年度一般会計補正予算案でございます。

補正総額は、総括表一番下の計の欄、左から3列目に記載のとおり、1億700万円の増額をお願いしております。補正後の予算総額は、その右の欄のとおり、64億232万3,000円となっております。

補正額の財源につきましては、財源内訳の欄の括弧内に記載のとおりでございます。

2ページをお開きください。

課別の主要事項につきまして、御説明申し上げます。

総合政策課でございます。

（目）企画総務費の摘要欄①企画調整費のア、新規事業の関西圏域誘客促進事業でございます。

平成27年6月8日に大鳴門橋開通30周年を迎えるに当たり、本県への観光誘客を促進するため、関西圏で多くの集客が見込まれるイベントに出展する経費として、50万円の増額をお願いしております。

補正後の総合政策課予算総額といたしましては、9億864万8,000円となっております。

3ページを御覧ください。

広域行政課でございます。

（目）計画調査費の摘要欄①広域交流連携推進費のア、新規事業の大鳴門橋開通30周年スタートアップ事業でございます。

当事業も来年6月の大鳴門橋開通30周年に先駆けて、徳島県と兵庫県の交流促進や本県への観光誘客につなげるため、オープニングイベントを開催するなど、30周年記念事業のスタートアップ事業として650万円の増額をお願いしております。

補正後の広域行政課予算総額といたしましては、1億4,901万円となっております。

4ページをお開きください。

地域振興局でございます。

（目）地域振興対策費の摘要欄①地域整備推進費のアの地域総合整備資金貸付金でございます。

地域振興に資する民間事業活動を支援し、活力と魅力ある地域づくりを推進するため、地域総合整備財団の支援を得て、医療法人に無利子資金を貸し付ける経費として、1億円の増額をお願いしております。

補正後の地域振興局予算総額といたしましては、44億6,302万1,000円となっております。

5ページを御覧ください。

その他の議案等につきまして、御説明申し上げます。

（1）専決処分の承認についてでございます。

平成26年12月14日に執行予定の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に要する経費に係る補正予算につきましては、地方自治法第179条第1項の規定により、平成26年11月21日に専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告し、御承認を求めるものであります。

専決処分内容といたしましては、市町村課所管の（目）選挙啓発費の衆議院議員総選挙臨時啓発費といたしまして219万2,000円を、（目）衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費といたしまして4億7,400万円を、それぞれ増額したところでございます。

提出予定案件の説明は、以上でございます。

笠井委員長

次に、関西広域連合議会議員の北島副委員長から関西広域連合議会の活動状況について報告を受けたいと思います。

【報告事項】

○ 「関西広域連合議会」について

北島副委員長

それでは、前回の報告以降に行われた関西広域連合議会の活動について、その概要を報

告いたします。

去る10月11日に大阪市の関西広域連合本部において、第22回総務常任委員会が開催されました。

その中で、本部事務局から平成25年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件について説明がなされ、全委員一致で認定されました。

本件に係る11月臨時会における委員長報告については、正副委員長に一任されております。

また、本部事務局などから、関西圏域の展望研究の実施及び「まち・ひと・しごと創生本部」に対する提案、関西ワールドマスタースゲームズ2021などについて説明が行われました。

これに対して委員からは、関西圏域の展望研究の成果を提案に生かすため、スケジュール感をしっかり持って、実効性と実現性のある提案をしてもらいたい、「まち・ひと・しごと創生本部」に対する提案についてはいつ行うのか、構成府県との調整の場はあるのか、さらに、一般財団法人として設立する組織委員会の理事に関西広域連合議会の正副議長が就任する件については、今後、理事会で協議することが必要ではないのか、などの意見が出されました。

報告は以上であります。

笠井委員長

関連して、理事者において説明又は報告すべき事項があれば、これを受けたいと思います。

【報告事項】

- 「関西広域連合委員会」について（資料②）

妹尾政策創造部長

関西広域連合委員会に関しまして、御報告をさせていただきます。

お手元に御配付の資料1を御覧ください。

去る10月29日に第50回関西広域連合委員会が開催されましたので、その概要につきまして、主な協議事項等を2点御説明させていただきます。

1 ページをお開きください。

まず、「まち・ひと・しごと創生本部」に対する提案についてでございます。

関西広域連合では、国が設置した「まち・ひと・しごと創生本部」に対して、去る9月26日に東京一極集中からの脱却や地域活力の再生などの実現に向けた第1弾の提案を行ったところでありますが、この日の連合委員会において、人・企業・大学・政府機関の地方分散の促進や、地域再生を総合的に支援する財政支援制度の創設など、具体的な施策提案を盛り込んだ第2弾の提案を行うことを決定し、その後、10月31日に国へ提出したところ

であります。

次に、8ページをお開きください。

危険ドラッグ対策に係る国への提言等についてでございます。

去る10月7日に実施した、新たな観点に立った効果的な規制手法の確立、危険ドラッグ非常事態宣言など、社会意識の醸成に向けた強力な啓発等、危険ドラッグ対策の充実強化に関する国への提言の実施状況とともに、その後、危険ドラッグ対策に関して10月17日に開催された衆議院厚生労働委員会参考人質疑において、広域医療担当委員として飯泉知事が出席し、関西広域連合や各構成府県の取組の説明と合わせて、危険ドラッグの一掃に向け、法整備も含めた一層の取組の充実・強化を訴えたことについて、それぞれ報告を行ったところであります。

なお、関西広域連合をはじめ、地方からの危険ドラッグ対策の充実強化を求める要請等を受け、危険ドラッグの全国一律の規制を行うため、医薬品医療機器等法における所要の改正については、11月19日に参議院本会議で可決、成立したところであります。

関西広域連合委員会に関する報告は、以上でございます。

よろしくお願い申し上げます。

笠井委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

松崎委員

解散総選挙等に伴う専決処分に関する金額が約4億8,000万ということで、大義のない解散ということも含め、大変な無駄遣いではないかという指摘なども頂いております。そこでお聞きしたいのは、これは県で予算が組まれています。今回の総選挙に関わる経費はこれだけなのでしょうか。それとも、市町村の分は市町村のほうで別にあるのか、その部分についての説明をお願いできたらと思います。

山口市町村課長

県選挙管理委員会の書記長の立場でお答え申し上げます。

今回、専決処分させていただきました額といたしまして、御指摘のとおり、4億7,619万2,000円ということで、このうち市町村への交付金といたしまして、3億5,000万円ほど盛り込まれているところでございます。この4億7,619万2,000円自体は、国庫委託金ですべて国費で賄われているものでございます。これを市町村にも交付金として県を通じて支出いたしまして、市町村のほうで選挙の費用を充てることになっております。

木南委員

せっかく南部総合県民局あるいは西部総合県民局から政策調査幹が来ています。政策創造部関係ですから、部長のほうから余り報告がなかったのですが、今夏の台風11号、12号等々の集中豪雨等で、管内にかなりの被害があったり、あるいは社会生活に非常に影響があったと思います。説明は付託委員会でお願ひします。間もなく正月を迎えるわけですが、どのような状況になっているのか、あるいは復旧の度合いについては県土整備部で報告しているのかもしれませんが、政策創造部でもその辺を把握していただき、総務委員会で報告していただけたらありがたいと思うので、取り計らっていただくようお願ひします。

妹尾政策創造部長

委員おっしゃるとおり、それぞれ県土整備部、それから農林水産部で具体的な復旧事業が進んでおりまして、それぞれの部において執行している状況にあると思います。委員からのお話ありがとうございましたので、政策創造部としてどういう形で報告したらいいのか、また、説明することについては検討させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

岸本委員

「vs東京」ということで、さきの議会から議論が重ねられました。そして、現場の方の決意等々をお聞かせいただいて、非常に心強いと思っております。そのような中、今、予算編成が各部門で進められているということで、その予算編成について、徳島から何本か発信していく、今度の予算編成に当たっての「vs東京」に対する意気込みを幹部の方からお答えいただき、終わりたいと思います。

妹尾政策創造部長

岸本委員から、「vs東京」に対する意気込みについて、また、来年度予算への取組について御質問を頂きました。

「vs東京」につきましては、当初、賛否両論がありました。今の感じといたしましては、徳島県もよく頑張っているといった御意見のほうが多くなってきて感じております。ですから、そういった御意見を受け止め、より一層発信していくため、来年度予算に向けまして当部としても一生懸命取り組みますし、また、対外発信戦略統括本部というものがございまして、その中で全庁的な取組も進めておりますので、それぞれ本県の強みにつきまして発信できるように一生懸命頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

笠井委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、政策創造部関係の調査を終わります。
議事の都合により、休憩いたします。（13時49分）